

している女性がいるんです！

OLとして働きながら“スラッシャー”としても活躍する同世代の2人。彼女たちの話を聞いて分かったのは、「好き」を諦めずに行動を起こし続けた結果、いつの間にかスラッシャーになっていたということ。特別な才能よりも、自分の夢や目標を諦めない気持ちが大切なのかもしれません。



イラストの案件は多い月で約20件。通勤前や週末の時間をやりくりして描きます。友達に「見たよ！」って言われるのが一番のやりがいです。

9:00出社、18:00退社が平日の基本スケジュール。業務内容に惹かれて転職した今の会社は副業OK。ライターをしながら働いている同僚もいます。



イラストレーター
外資系OL

イラストレーター / 外資系OL 渡邊香織 (foxco212)さん 26歳

1990年生まれ、東京都出身。慶應義塾大学卒業後、外資系IT企業に就職。今年1月に外資系EC企業に転職。また、フリーランスのイラストレーターとして、ファッション誌などの挿絵を手掛ける。6月には、「Neighborhood and Coffee 池尻2丁目店」で初の個展も開催。Instagram : foxco212。



「好き」でイラストをアップしていた SNSが名刺代わりに

るようになり、改めて自分の裁量で仕事ができる楽しさを実感。やっぱりいつかはイラストレーターとして独立したい」という気持ちが強くなりました。それでもすぐに会社を辞めようと思わないのは、会社員としての自分にまだまだ満足していないから。それに転職して広告営業を担当しているのですが、売り上げが上がってクライアントが喜ぶ姿を見るのはうれしいうし、そこにはイラストレーターとは別の達成感もあるんです。たまに2つの仕事に追われて一杯一杯になって、どちらかに専念した方が高い成果が出せるんじゃないか、と悩むこともあります。が、会社員としてもイラストレーターとしても今はまだ試行錯誤の真っ最中。とにかく目の前の仕事に丁寧に向き合って、2つの仕事を全力で楽しんでいきたいです。

学生時代から、漠然とデザイン関係の仕事がしたいと考えていました。だけど、ファーストキャリアに選んだのは規模の大きな外資系のIT企業。大企業じゃないと経験できないこともあるだろうし、新しい技術を現実に落とし込んでいくことにも興味があったので。それと大きかったのは、私の周りにいてクリエイティブな仕事をしている人はフリーランスで活動している人が多かったこと。それを見ていたので、やるうと思えば自分次第でできると勝手に思っていたんです……。いざ入社してみると日々の業務に忙殺されることになるのですが……(笑)。それでも興味でイラストを描いては、SNSにアップし続けていました。イラストレーターとして仕事で成立し始めたのは去年の秋頃。そのSNSを、WEBデザイン系の仕事をしている友人がお客様を持っていくてくれたみたいで、初めてのお仕事になったんです。自分の名前が世に出